

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名 地域高規格道路 甲賀湖南道路 一般国道1号 水口道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局	
起終点 自：滋賀県甲賀市土山町大野 至：滋賀県湖南市岩根	延長	11.0km	
事業概要 一般国道1号は、東京都中央区から滋賀県を経て大阪府大阪市に至る主要幹線道路であり、滋賀県内においては甲賀市、湖南市、栗東市、草津市、大津市の湖南地域の産業・経済・生活を支える重要な役割を果たしている。 水口道路は、一般国道1号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、地域の活性化等を目的に計画された道路である。			
S41年度事業化(1工区)	S61年度都市計画決定 (H-年度変更)	S45年度用地着手	S46年度工事着手
全体事業費 400億円		事業進捗率 約86%	供用済延長 10.1km
計画交通量 30,900台/日			
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 9.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 69/743億円 事業費：41/685億円 維持管理費：27/58億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 646/1428億円 走行時間短縮便益：505/1,270億円 走行経費減少便益：115/129億円 交通事故減少便益：26/29億円
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.5~2.4 (交通量±10%) 【残事業】交通量：B/C=6.6~10.3 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.9~1.9 (事業費±10%) 事業費：B/C=8.9~10.0 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.9~1.9 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=9.4~9.4 (事業期間±20%)			
事業の効果等			
①交通混雑の緩和 ・未整備区間（2車線区間）がボトルネックとなり、渋滞が発生しているが、水口道路2工区の整備により交通混雑の緩和が期待される。			
②交通安全の確保 ・水口道路2工区（3.6km）での交通事故件数は、水口道路（11.0km）全体の約7割を占めており、2工区の死傷事故率は整備完了している1・3工区の死傷事故率よりも突出して高くなっている。また、2工区では単路部での追突・出会い頭など車両相互の事故が多発していることから、2工区の整備により交通事故が減り、自動車・歩行者の安全性・走行性の向上が期待できる。			
③日常生活圏中心都市へのアクセス向上 ・甲賀市～栗東市への所要時間が短縮。（38分→35分）			
④主要な観光地へのアクセス向上 ・沿線へのアクセス向上により観光客の増加が見込まれる。 （滋賀県希望ヶ丘 観光客入り込み数：65.7万人/年(H23)）			
⑤高度医療施設へのアクセス向上 ・甲賀市～済生会滋賀県病院への所要時間が短縮。（38分→35分）			
⑥沿道環境の改善 ・国道1号 甲賀市水口町（騒音レベル：夜間70db 改善見込み）			
関係する地方公共団体等の意見			
地域から頂いた主な意見等： ・地域高規格道路甲賀湖南道路整備促進期成同盟会（H6.7設立、甲賀市、湖南市、栗東市）より早期整備の要望を受けている。			
滋賀県知事の意見： 一般国道1号水口道路については、対応方針（原案）として【事業継続】とされているとおり、事業効果の早期発現に向けてさらなる整備促進をお願いしたい。 地元も交通混雑、交通事故等の課題解消のため、当該事業の早期完成を強く望んでおります。			

なお、事業推進にあたっては、進捗のための十分な予算の確保、並びに徹底したコスト縮減に取り組んでいただきたい。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「国道1号水口道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

一般国道1号の交通量は、新名神開通後も、依然として交通容量(混雑度1.6)を超過している。また、滋賀県及び甲賀市の自動車保有台数については増加傾向にあり、水口道路2工区の整備による交通容量の確保が求められている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

現在までに10.1km(うち1.7kmは暫定2車線、2.6kmは暫定3車線)開通済み、用地進捗率:約99%、事業進捗率:約86%。残る区間について、水口道路2工区3.5kmの用地取得及び改良工事を推進する。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、平成27年度の開通を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等により、コスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

再評価結果(平成26年度事業継続箇所)

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

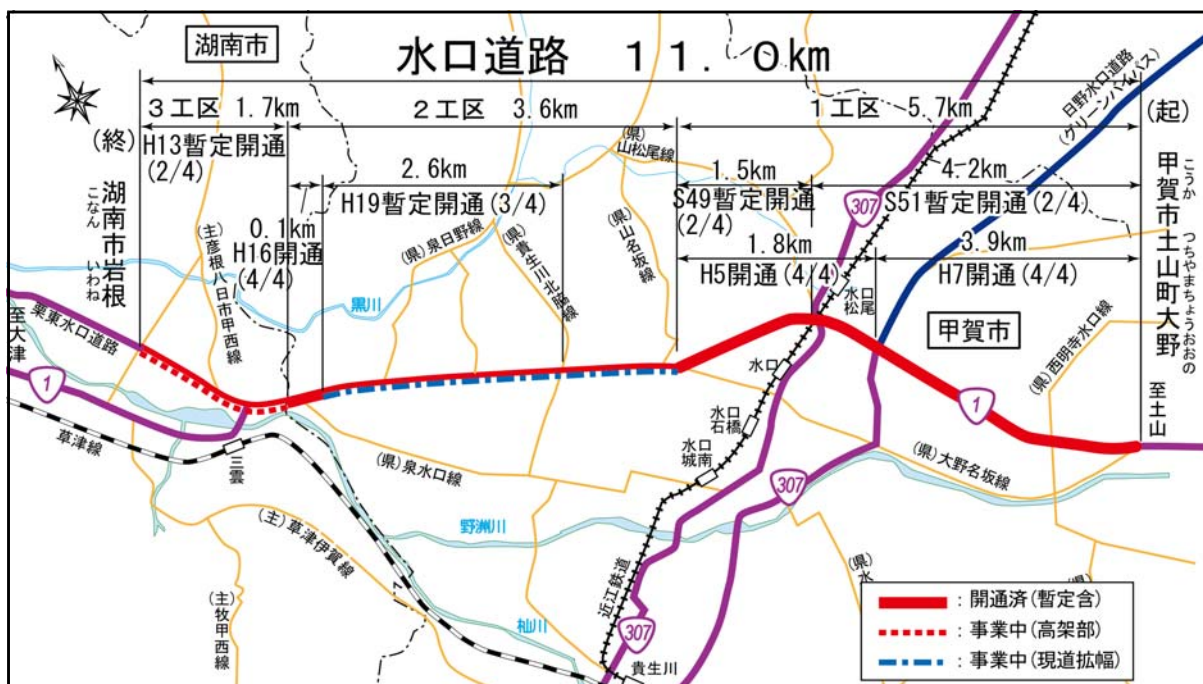
事業名 地域高規格道路 甲賀湖南道路 一般国道1号 水口道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局
起終点 自：滋賀県甲賀市土山町大野 至：滋賀県湖南市岩根	延長 11.0km	

事業概要図

【位置図】



【概要図】



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。